

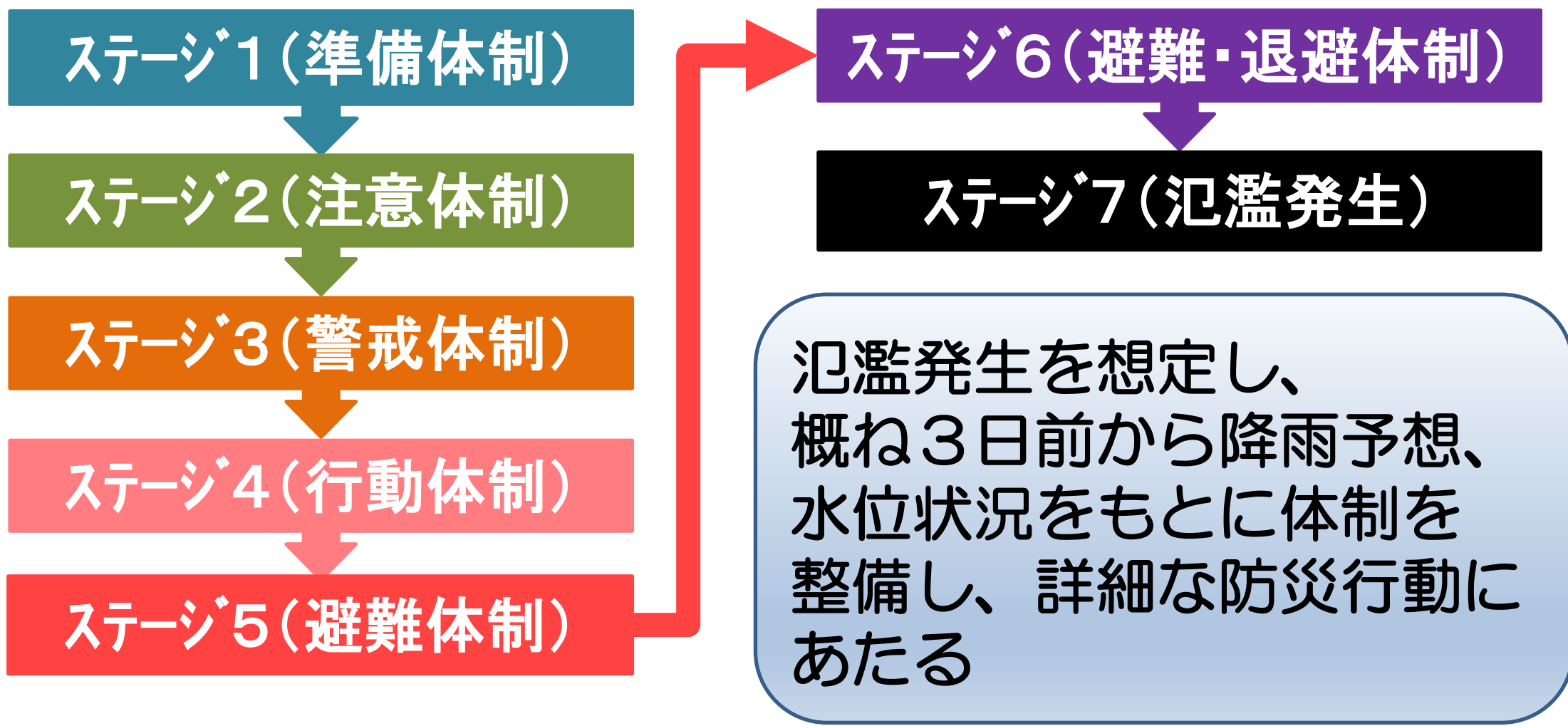
市、国、県の10機関により検討会を開催

ポイント①： 庁内関係部署及び関係機関で検討会を設置

- ・ 策定検討会を3回開催（H29.12～H30.3）
- ・ 阿武隈川、荒川、松川を対象（メンバー）
 - 庁内18関係部署
 - 福島河川国道事務所、摺上川ダム管理所、福島地方気象台、県北地方振興局、県北建設事務所、福島及び福島北警察署、陸上自衛隊福島駐屯地、福島市消防団

水防災意識社会再構築ビジョンにもとづき「福島市洪水タイムライン(詳細版)」を策定しました！

災害発生を想定した体制



ポイント②： 詳細版の内容

- ① 災害発生までの体制を7段階に区分し、331の行動項目を抽出
- ② 役割を4つに区分
 - ・ 情報の発表機関
 - ・ 行動実施や情報収集、発信の中心となる部署
 - ・ 行動の補助、支援を行う部署
 - ・ 情報を活用する部署

福島市洪水タイムライン(阿武隈川、荒川、松川) H30.3 詳細版(Ver.1)

フェーズ	主な対応	具体的な対応	管理No	詳細項目	危険管理室	河川課	農林整備課	下水道室	路政	道政	交通	広域	教育	長官	健康	こと	水道総務課	全支所	松川(坂・妻支所)	消防本部	関係機関
目次の時間	7段階の体制	7段階の体制		331の行動項目																	
タイムライン	準備																				

台風等の大雨の影響による阿武隈川、荒川、松川の洪水被害発生までを想定した防災行動計画となる「タイムライン(詳細版)」を平成30年3月に策定しました。

平成30年度は、このタイムライン(詳細版)を運用し、実際の対応の中で検証しながら随時見直しを行います。